



山林の現地調査

(特非) おかやまエネルギーの未来を考える会

市民・地域参加型の持続可能な 森林管理とエネルギー自給の ためのビジョンづくり

一般助成

1年目

知識の提供・
普及啓発

イベントへの
参加人数

150人

イベントに
参加しての関心度

100%

活動の全体目標に
対する達成度

30%

課題

高梁市内の放置された山林の実態調査をし、山林の復活とそれを再生可能エネルギー資源として有効活用するための普及啓発を実施。

活動内容

7月に高梁市、吉備国際大学、NPO法人フォレストフォーピープル岡山等と連携し、シンポジウム「森のチカラ、地域のチカラ、再発見!」を開催した。約150名の来場者があり、日本総研・藻谷浩介さんの基調講演、地元行政、NPO法人、バイオマスボイラー推進者のパネルディスカッションがあり、森の資源を有効活用することの意義と可能性を多くの方に知っていただくことができた。



徳島地域エネルギーへの
視察の様子

今後の課題

森林の実態がわかり、エネルギー利用の仕組みづくりの事例を知ることができた。今後は川上から川下までの流れをどう創り出していくかを関係者の方々と話し合い、仕組みづくりにつなげていきたい。

成果と工夫した ポイント



成果

森林保全の活動を行っていたNPO法人が、資源を薪やチップとしてエネルギー活用することの可能性を感じ取ってもらえたこと。高梁市とも今後、連携できる可能性が見えてきたこと。

工夫

シンポジウムの開催は若手スタッフを中心に準備。活気あるものとなった。SNSも利用して幅広く告知。